

令和4(2022)年度授業評価アンケート

授業評価アンケートは、FD活動の一環として、前期・後期各期において、学生による授業評価アンケートを実施し、その結果を教員が授業の改善工夫に生かすとともに、所見を回答することにより、学生へのフィードバックを行なっています。

この取り組みは、学生による授業評価アンケートに示された学生からの率直な意見や評価を、個々の教員がまずは謙虚に受けとめるという姿勢が基本となり、その上で、より良い授業を目指して行こうという全教員の熱意によって支えられています。

1. 授業評価アンケート実施状況

【前期】

(1)実施期間：令和4(2022)年7月7日(木)～7月27日(水)

(2)調査方式：紙方式(マークシート)

講義・演習科目 設問18問(選択式)、自由記述1問

実験・実習科目 設問20問(選択式)、自由記述1問

※オムニバス科目は各科目で1つのアンケートとし、設問項目「担当教員の授業に対する姿勢」を除いて実施。
「授業の目標や到達目標、成績評価についての確認」「学生自身の授業に対する態度」「総合評価」「授業改善の提案と教員へのメッセージ」を回答。

*講義・演習科目は設問7～17を除いて回答

*実験・実習科目は設問8～19を除いて回答

(3)実施対象科目：全科目(ゼミナール、総合演習、卒業研究・制作を除く)

講義・演習 健康栄養学部 98科目 (管理栄養学科 48科目 食品学科 50科目)

実験・実習 健康栄養学部 23科目 (管理栄養学科 11科目 食品学科 12科目)

(4)回答率：

講義・演習 履修者数：5,132 回答者数：4,375 回答率：85.25%

管理栄養学科：3,050 回答者数：2,634 回答率：86.36%

食品学科：2,082 回答者数：1,741 回答率：83.62%

実験・実習 履修者数：1,232 回答者数：1,081 回答率：87.74%

管理栄養学科：714 回答者数：629 回答率：88.10%

食品学科：518 回答者数：452 回答率：87.26%

【後期】

(1)実施期間：令和5(2023)年1月16日(月)～2月3日(金)

(2)調査方式：紙方式(マークシート)

前期と同様の方式

(3)実施対象科目：全科目(ゼミナール、総合演習、卒業研究・制作を除く)

講義・演習 健康栄養学部 84科目 (管理栄養学科 42科目 食品学科 42科目)

実験・実習 健康栄養学部 29科目 (管理栄養学科 16科目 食品学科 13科目)

(4)回答率：

講義・演習 履修者数：3,648 回答者数：3,093 回答率：84.79%

管理栄養学科：2,183 回答者数：1,877 回答率：85.98%

食品学科：1,465 回答者数：1,216 回答率：83.00%

実験・実習 履修者数：1,457 回答者数：1,308 回答率：89.77%

管理栄養学科：1,026 回答者数：936 回答率：91.23%

食品学科：431 回答者数：372 回答率：86.31%

2. 授業評価アンケート設問内容（前期・後期共通）

(1) 講義・演習科目

<授業の目的や到達目標、成績評価についての確認>	
設問 1	授業のテーマや目的は、毎回の授業展開の中で明確であった。
設問 2	教員は成績評価の基準を示した。
<学生自身の授業に対する姿勢>	
設問 3	あなた自身、積極的に授業に参加した。
設問 4	あなたは、この授業の目的や到達目標を明確に理解していた。
設問 5	この授業を受けたことで知識や技術が得られた。
設問 6	必要な準備（予習・復習）をして授業に臨んだ。
<担当教員の授業に対する姿勢>	
設問 7	内容を解りやすく伝えようとする意欲・工夫などが感じられた
設問 8	教員の話し方は明瞭でわかりやすかった。
設問 9	授業の始めに、前回の学習内容の復習がなされている。
設問 10	授業内容に関連する興味を高める手法（著書、論文、データの紹介など）があった。
設問 11	この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていた。
設問 12	教員は学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた。
設問 13	板書、視聴覚教材、配布資料などの使い方が効果的であった。
設問 14	教員は私語の注意、入退室の注意など、授業環境のコントロールができていた。
設問 15	授業の進度と分量は適切であった。
設問 16	授業内容は各週の授業計画（項目・内容）に沿って進行していた。
設問 17	この授業の開始時間、終了時間は適切だった。
<総合評価>	
設問 18	総合的に評価して、満足できる授業であった。
<自由記述>	
授業をさらに良くするための提案、担当教員に対してご意見などがあれば具体的に記入してください。	

(2) 実験・実習科目

<授業の目的や到達目標、成績評価についての確認>	
設問 1	授業のテーマや目的は、毎回の授業展開の中で明確であった。
設問 2	教員は成績評価の基準を示した。
<学生自身の授業に対する姿勢>	
設問 3	あなた自身、積極的に授業に参加した。
設問 4	あなたは、この授業の目的や到達目標を明確に理解していた。
設問 5	この授業を受けたことで知識や技術が得られた。
設問 6	必要な準備（予習・復習）をして授業に臨んだ。
設問 7	この授業を受けて、関連する分野（講義・演習科目）の理解または関心が深まった。
<担当教員の授業に対する姿勢>	
設問 8	内容を解りやすく伝えようとする意欲・工夫などが感じられた
設問 9	教員の説明・指示・デモンストレーションはわかりやすかった。
設問 10	授業の始めに、前回の学習内容の復習がなされている。
設問 11	授業内容に関連する興味を高める手法（著書、論文、データの紹介など）があった。
設問 12	この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていた。
設問 13	教員は学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた。
設問 14	板書、視聴覚教材、配布資料などの使い方が効果的であった。
設問 15	教員は私語の注意、入退室の注意など、授業環境のコントロールができていた。
設問 16	授業の進度と分量は適切であった。
設問 17	授業内容は各週の授業計画（項目・内容）に沿って進行していた。
設問 18	この授業の開始時間、終了時間は適切だった。
設問 19	実験・実習がスムーズに進められるよう、材料や器具が十分準備されていた。
<総合評価>	
設問 20	総合的に評価して、満足できる授業であった。
<自由記述>	
授業をさらに良くするための提案、担当教員に対してご意見などがあれば具体的に記入してください。	

3. 授業評価アンケート結果のフィードバック

アンケート結果は、授業担当教員に配付され、授業担当教員はアンケート結果に対する確認と所見を作成しています。学生へのフィードバックは、授業担当教員の結果及び授業担当教員が作成した所見を学内ファイルサーバから閲覧できるように公表しています。

授業評価アンケートは、本学のアセスメントポリシーの科目レベル（科目ごと）において、評価レベルと位置付けています。授業評価アンケートの担当教員所見は、授業評価アンケート自由記述「学生からの提案や意見」における対応、自身の評価結果を踏まえた課題確認など記載し学生に回答すると同時に次年度授業への活用となっており、授業運営における PDCA サイクル（各教員の自己点検・評価）が確立されています。

4. 学生の取組分野、教員の取組分野、授業の成果分野、総合評価との関係

(1) 評定尺度と集計数値

①各設問の評定尺度は、5段階〔強く思う、そう思う、どちらとも言えない、そう思わない、全く思わない〕とし、集計数値は、「強く思う」を5、「そう思う」を4、「どちらとも言えない」を3、「そう思わない」を2、「全く思わない」を1とした。

ただし、設問6『必要な準備（予習・復習）をして授業に臨んだ。』の評定尺度は、4段階〔十分行った、ある程度行った、あまり行っていない、全く行っていない〕であり、集計数値は「十分行った」を5、「ある程度行った」を4、「あまり行っていない」を2、「全く行っていない」を1とした。

②評定尺度平均値の算出は、各設問での無回答及び読み取り不可回答は、母数から除いた。

(2) 集計結果「授業評価アンケート分野別平均の推移状況」

授業評価アンケート分野別平均（学生の取組分野、教員の取組分野、授業の成果分野、総合評価との関係）における2018、2019、2022年度推移状況結果は、表1-1～1-2の通りです。

授業評価アンケートは、アセスメントポリシーの教育課程レベル（学部・学科ごと）において、評価レベルと位置付けています。授業評価アンケート分野別平均における2018、2019、2022年度推移状況結果から、本学のFD活動〔教科打合せ会、授業公開（教員相互の授業参観）、FD研修会等〕は、機能していると判断しています。

なお、2020、2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止によるオンライン授業用アンケートを実施し、設問内容も変更していることから、推移状況の比較対象としていません。2020、2021年度の結果は、参考資料の通りでした。

表 1-1 授業評価アンケート分野別平均の推移状況 【管理栄養学科】

		学生の取組み	教員の取組み	授業の成果	総合評価
講義・演習科目	2022 後期	4.04	4.14	4.13	4.14
	2022 前期	3.95	4.20	4.16	4.23
	2019 後期	4.00	3.92	3.95	3.95
	2019 前期	3.82	3.89	3.93	3.93
	2018 後期	3.80	3.85	3.93	3.85
	2018 前期	3.70	3.95	4.02	3.99
		学生の取組み	教員の取組み	授業の成果	総合評価
実験・実習科目	2022 後期	4.20	4.09	4.17	4.13
	2022 前期	4.26	4.37	4.40	4.52
	2019 後期	4.32	4.10	4.18	4.16
	2019 前期	4.11	4.02	4.07	4.08
	2018 後期	4.07	4.03	4.15	4.09
	2018 前期	3.87	4.06	4.14	4.12

表 1-2 授業評価アンケート分野別平均の推移状況 【食品学科】

		学生の取組み	教員の取組み	授業の成果	総合評価
講義・演習科目	2022 後期	4.21	4.22	4.18	4.28
	2022 前期	4.04	4.13	4.12	4.19
	2019 後期	3.86	3.86	3.87	3.87
	2019 前期	3.76	3.74	3.77	3.76
	2018 後期	3.65	3.88	3.85	3.89
	2018 前期	3.50	3.78	3.79	3.78
		学生の取組み	教員の取組み	授業の成果	総合評価
実験・実習科目	2022 後期	4.44	4.41	4.36	4.49
	2022 前期	4.42	4.41	4.37	4.54
	2019 後期	4.20	4.06	4.06	4.10
	2019 前期	3.95	3.96	3.97	4.02
	2018 後期	3.97	4.06	4.02	4.08
	2018 前期	3.81	4.02	4.00	4.14

=== 参考：2020、2021 年度オンライン授業用アンケート調査結果 ===

【2020 年度の対応について】

- ・2020 年度オンライン授業アンケートは学生の授業に対する満足度も含めて調査しており、「授業評価アンケート」に相当する。
- ・満足度の確認については、「満足している」「おおむね満足している」「あまり満足していない」「満足していない」の4段階で調査を行っている。このうち、肯定的な評価（満足している、おおむね満足しているの合計）は、前期オンライン授業は管理栄養学科 77.2%、食品学科 78.5%、全体 77.8%、後期オンライン授業は管理栄養学科 78.4%、食品学科 73.2%、全体 76.3%、後期対面授業は管理栄養学科 87.9%、食品学科 87.1%、全体 87.6%であった。

【2021年度の対応について】

- ・2021年度オンライン授業アンケートは学生の授業に対する満足度も含めて調査しており、「授業評価アンケート」に相当する。
- ・満足度の確認については、「満足している」「おおむね満足している」「あまり満足していない」「満足していない」の4段階で調査を行っている。このうち、肯定的な評価（満足している、おおむね満足しているの合計）は、前期オンライン授業は管理栄養学科 81.8%、食品学科 75.6%、全体 79.4%であり、前期対面授業は管理栄養学科 87.8%、食品学科 91.4%、全体 89.2%であった。後期オンライン授業は管理栄養学科 88.3%、食品学科 80.5%、全体 85.5%であり、後期対面授業は管理栄養学科 89.8%、食品学科は 89.0%、全体 89.5%であった。